

新しい地域研究にむけて

東南アジア地域研究研究所では、人文社会科学から自然科学までさまざまな分野を専門とする研究者が集い、横断的な協力をしながら研究活動を行っています。東南アジアを含むグローバルサウスに現れている地球規模の課題を解明していくには、さまざまな学問分野が積み上げてきた理解の体系知と、地域研究が本領とする実態の把握、この両輪がともに不可欠です。多様な研究者がそれぞれの分析視角をもち寄るとともにフィールド調査によって現場に迫り、「地域で起きてきたこと」を解明していく学際融合型の地域研究が、本研究のもつ強みであると自負しています。

2020年代に入り世界は大きな変調を経験し、それによる新しい課題の登場が地域研究のアプローチに大幅な変革を迫っています。災害、温暖化などの地球的課題が学際的な英知を必要とすること、紛争や政治対立がフィールド調査を困難にしつつあること、情報化が人間の活動空間を拡張させ、観察すべき情報を爆発的に増大させていること、などです。われわれは、新しいチャレンジに臆することなく取り組み、やってくる変化を先取りして、研究所の活動を展開して参ります。

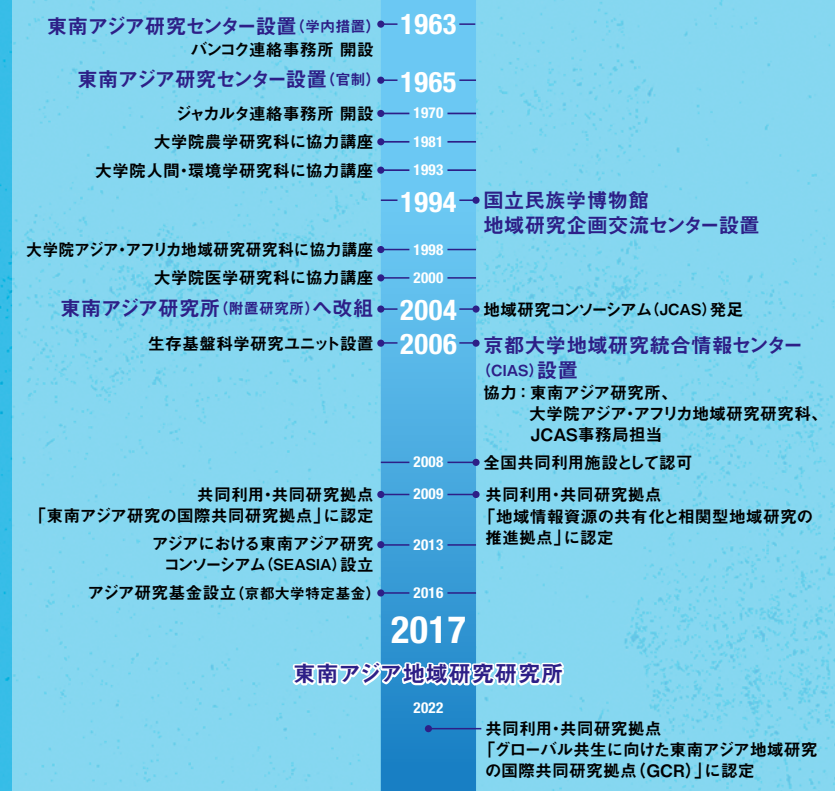
京都大学東南アジア地域研究研究所
所長 三重野文晴

研究所のめざすもの



- ▶ 国家を超えて課題に取り組むコミュニティを形成
- ▶ 地域の多様性に即した生命中心の科学へ転換
- ▶ 地球環境と調和した社会イノベーションの創出
- ▶ 世界諸地域の情報資源の共有化と利活用

沿革



アクセス

JR京都駅から		所要時間
市バス(4、17、205系統)	「荒神口」下車、バス停より東に徒歩5分	約30分
京都バス(17系統)	「荒神橋」下車、バス停より南に徒歩1分	約30分
タクシー	「荒神橋東詰の稲盛財団記念館へ」とご指定下さい	約30分
京阪三条駅から		所要時間
京阪本線「出町柳」行き	「神宮丸太町」下車、北に徒歩3分	約10分
阪急京都河原町駅から		所要時間
市バス(3、4、17、37、59、205系統)	「荒神口」下車、バス停より東に徒歩5分	約15分
京都バス(16、17系統)	「荒神橋」下車、バス停より南に徒歩1分	約15分

Center for Southeast Asian Studies
KYOTO UNIVERSITY
京都大学東南アジア地域研究研究所

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 TEL 075-753-7302 FAX 075-753-7350

© 京都大学東南アジア地域研究研究所

イラスト/きのしたちひろ 制作協力/京都通信社 本文デザイン/中曽根デザイン

<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/>



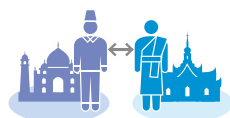
京都大学東南アジア地域研究研究所

研究

研究部門

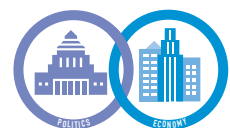
関連地域研究部門

研究資源開拓から研究成果公開に至る
地域研究方法論の確立



政治経済共生研究部門

個々の地域に即した政治的・経済的発展の
ための戦略に資する研究の推進



社会共生研究部門

多元共生に着目した人間社会研究の推進



環境共生研究部門

地球圏、生命圏とのかかわりのなかで
人間社会研究を推進



グローバル生存基盤研究部門

世界諸地域の生存基盤の相互参照による
グローバル生存基盤研究の推進



男女共同参画推進の取り組み

国際セミナーの企画・開催／託児サービス支援／
休憩スペース、キッズ・スペースの提供／スタッフ
の公募における女性の応募の推奨



教育

大学院教育／ILASセミナー

- 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 (ASAFAS) 東南アジア
地域研究専攻およびグローバル地域研究専攻、医学研究科社会
健康医学系専攻および医学専攻、農学研究科応用生物科学専
攻における院生の指導への協力
- 国際高等教育院 (ILAS) における学部生・留学生への一般教養と
共通科目の授業や集中講義提供の協力

ポスドク研究員の受け入れ

多分野の若手ポスドク研究員が在籍し、日々、研究所のメンバーとし
て積極的に研究交流を行っている

研究プロジェクト



共同利用・共同研究拠点
グローバル共生に向けた
東南アジア地域研究の
国際共同研究拠点 (GCR)

海域アジア遺産調査

(Maritime Asia Heritage Survey, MAHS)

日本学術振興会 科学研究費助成事業

東南アジアセミナー

1977年より毎年テーマを掲げて実施。
11か国より若手研究者1,054人が参加。

ネットワークの形成

MOU
(学術交流協定)
総数 **73** 機関
(25か国)

招へい研究員
総数 **429** 人
(34か国)

アジアにおける
東南アジア研究コンソーシアム
(SEASIA) 事務局
15 機関
(11か国)

地域研究
コンソーシアム
(JCAS) への参画
104 組織



JST国際科学技術共同研究推進事業
EASEAN科学技術イノベーション
共同研究拠点
——持続可能開発研究の推進 (JASTIP)

産学連携による協創プログラム

アジア・アフリカ地域研究部局との
連携による未来空調コンセプト創出

フィールドアーカイブの展開

ユニット活動

データサイエンスで切り拓く総合地域研究ユニット
アジア環太平洋研究ユニット
熱帯林保全と社会的持続性研究推進ユニット



出版



和文誌『東南アジア研究』

英文誌 *Southeast Asian Studies*

和文叢書 地域研究叢書

英文叢書 *Kyoto Area Studies on Asia*

Kyoto CSEAS Series on Asian Studies

Kyoto CSEAS Series on Philippine Studies

多言語オンラインジャーナル *Kyoto Review of Southeast Asia*

Kyoto Working Papers on Area Studies

CIRAS Discussion Paper Series

CSEASクラシックス

CSEASブックガイド 初学者のための東南アジア研究

資料収集・蓄積・公開

図書	蔵書数 約27万点／ アジア諸言語資料10万点以上
地図・資料	オンライン地図資料目録の提供
データベース	データベース構築支援サービス／ 地域研究資源共有化データベース
情報基盤構築	ICTを活用した サービスの展開



アウトリーチ



ビジュアル・ドキュメンタリー・
プロジェクト (VDP)

若手映像作家による短編ドキュメンタリー作品を通じて東南アジアの今を伝えるプラットフォーム

ブックトーク・オン・ アジア

アジアに関する最新本につ
いて著者に詳しく話を聞く
音声プログラム。隔週水曜
日に配信



たんけん動画 地域研究へようこそ

最新の地域研究とそれに取り組む所員の姿
をビビッドな動画で紹介



ビジターズ・ボイス／ 研究者インタビュー

訪問研究者や若手研究者
にインタビューを行い、研究
内容やおすすめの本をわか
りやすく紹介

コロナ・クロニクル ——現場の声

新型コロナウイルスがもた
らす影響について世界各
地の最新の知見を集め、
地域研究の最前線を発信

